

今回のポイント iDeCo (イデコ) 公式ロゴ決定と事前受付開始

iDeCoの公式ロゴマークが決定



11月1日に個人型確定拠出年金の愛称「iDeCo (イデコ)」の公式ロゴマークが厚生労働省から発表されました。(上記左からメインカラー、グレースケール、白抜き反転の3デザイン) “i”は「私」を表現。“e”と“o”は笑顔や好奇心等の人の表情を連想させ、親しみやすさを演出。全体として明るい未来を表現しています。

今後、確定拠出年金普及・推進協議会等が作成するポスター・チラシなどの広報媒体で活用するほか、金融機関等の商品広報媒体、報道の機会等に利用されます。

iDeCo事前受付が11月21日から開始

国民年金基金連合会において、2016年11月21日から、新たにiDeCoの加入対象となる会社員、公務員及び専業主婦等を対象とした事前受付が開始されています。iDeCoは原則60歳まで途中引き出しができませんので、長期にわたる資産形成になります。お申込みをする前に制度の内容をよく理解し、金融機関等(銀行、保険会社等)を選択する際には以下の4点をチェックしましょう。

【iDeCoにお申込みする前に確認すべき4つのポイント】

①商品の品揃え

お申込み先の金融機関により、取扱商品は異なりますので、自分が購入したい商品の取り扱いがあるかを確認してからお申し込みをしましょう。

②商品(投資信託)の年間費用(信託報酬)

商品(投資信託)の年間費用(信託報酬)は同じカテゴリーの商品であっても差がありますので選ぶ際には注意しましょう。

③手数料の金額

手数料には、加入手数料と年間手数料があります。年間手数料は2,000円程度～8,000円程度と金融機関によって金額に幅がありますので確認しましょう。

④金融機関の対応の良し悪し

加入時や困った際にきちんと対応してくれる金融機関を選びましょう。

一般的には「経営が健全」、「勤め先の紹介」、「ブランドイメージ」等が金融機関を選ぶ主な理由となっていますが、運用商品の「品揃え」、「手数料」、「対応の良し悪し」も金融機関選びの参考にするのがオススメです。特に長期の資産形成においては手数料や費用の差はトータルの運用損益に大きな影響を与えますので注意が必要です。(深谷)

ここも
チェック!

2016年 10月7日 職場積立NISA採用企業数が半年で倍増
2016年 9月16日 個人型DC制度の愛称は「iDeCo(イデコ)」